



ディスプレイのカスタマイズ

バージョン 4.7

管理者ガイド

目次

変更履歴.....	3
概要.....	4
アプリケーションの設定.....	5
内蔵 Web サーバーにアクセスする.....	5
ディスプレイのカスタマイズを有効にする.....	5
スクリーンセーバーとスライドショーの画像を管理する.....	5
フラッシュドライブを使用するアプリケーションを設定する.....	5
壁紙を選択する.....	6
スクリーンセーバーにステータスアイコンを表示する.....	6
スクリーンセーバーからアプリケーションとプリンタの機能にアクセスする.....	6
ログインプロファイルの設定.....	7
スクリーンセーバーの開始時刻を設定する.....	7
スクリーンセーバーのテキストのカスタマイズ.....	7
スクリーンセーバーの設定を非表示にする.....	7
アプリケーションのアクセス権を有効にする.....	8
設定ファイルをインポートまたはエクスポートする.....	8
アプリケーションを使用する.....	9
壁紙のイメージを変更する.....	9
スライドショーを実行する.....	9
トラブルシューティング.....	10
アプリケーションエラー.....	10
イメージをアップロードできない.....	11
ホーム画面から[壁紙を変更]と[スライドショー]の各アイコンにアクセスできない.....	11
イメージが表示されない.....	11
フラッシュドライブ読み取りエラー.....	12
フラッシュドライブを挿入しても何も動作しない.....	12
付録.....	13
索引.....	15

変更履歴

2019年3月

- 画像に求められるファイルサイズを更新しました。

2018年4月

- クラウドベースの通知のサポートを追加しました。

2017年8月

- アプリケーションエラーの解決手順を追加しました。

2016年7月

- 次の手順を追加しました。
 - ログインプロファイルの設定。
 - スクリーンセーバーのテキストのカスタマイズ。
 - スクリーンセーバーの設定の非表示。
- 画面タイムアウトの延長設定に関する情報を追加しました。
- クロアチア語、ルーマニア語、セルビア語、スロバキア語、スロベニア語のサポートを追加しました。

2016年1月

- タブレット型タッチ画面のディスプレイを搭載した複合製品の初期ドキュメントのリリース。

概要

イメージをプリンタにアップロードするには、このアプリケーションを使用します。イメージを使用してカスタムスライドショーを作成するか、プリンタの壁紙やスクリーンセーバーを設定することができます。

本書では、アプリケーションの設定、使用、トラブルシューティングを行う方法を説明します。

アプリケーションの設定

アプリケーションを設定するには、管理者権限が必要になることがあります。

内蔵 Web サーバーにアクセスする

- 1 プリンタの IP アドレスを以下の部分で確認します。次のいずれかを実行します。
 - プリンタのホーム画面で IP アドレスを確認します。
 - プリンタのホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ネットワークの概要]をタッチします。
- 2 Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。

ディスプレイのカスタマイズを有効にする

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページに移動します。
[アプリ] > [ディスプレイのカスタマイズ] > [設定]
- 2 スクリーンセーバー、スライドショー、壁紙を有効にします。
- 3 [適用]をクリックします。

スクリーンセーバーとスライドショーの画像を管理する

- 1 EWS からアプリケーションの設定ページに移動します。
[アプリ] > [ディスプレイのカスタマイズ] > [設定]
- 2 [スクリーンセーバーとスライドショーの画像]セクションで、画像を追加、編集、または削除します。
メモ：
 - 最大 10 個の画像を追加できます。
 - 有効にすると、エラー、警告、またはクラウドベースの通知がある場合のみ、スクリーンセーバーにステータスアイコンが表示されます。
 - 各設定の詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。
- 3 [適用]をクリックします。

フラッシュドライブを使用するアプリケーションを設定する

作業を開始する前に、使用するイメージを保存しているフラッシュドライブに、フォルダを作成してあることを確認します。

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページに移動します。
[アプリ] > [ディスプレイのカスタマイズ] > [設定]
- 2 [スクリーンセーバーの設定]または[スライドショーの設定]セクションで、[フラッシュメモリを有効化]を選択します。

- 3 [ディレクトリパス]テキストボックスで、フラッシュドライブ内でイメージを保存しているフォルダを表すパスを指定します。
- 4 必要に応じて、その他の設定を調整します。
メモ: 各設定の詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。
- 5 [適用]をクリックします。

壁紙を選択する

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページに移動します。
[アプリ] > [ディスプレイのカスタマイズ] > [設定]
- 2 必要に応じて、[壁紙の設定]セクションで、壁紙を有効にします。
- 3 [壁紙のイメージ]メニューで、いずれかのイメージを選択します。
メモ:
 - カスタム画像を追加することもできます。
 - 詳細については、マウスカーソルを合わせると表示されるヘルプを参照してください。
- 4 [適用]をクリックします。

スクリーンセーバーにステータスアイコンを表示する

メモ: 有効にすると、エラー、警告、またはクラウドベースの通知がある場合のみ、スクリーンセーバーにステータスアイコンが表示されます。

- 1 EWS からアプリケーションの設定ページに移動します。
[アプリ] > [ディスプレイのカスタマイズ] > [設定]
- 2 [スクリーンセーバーの設定]セクションで、[ステータスの表示を有効にする]を選択します。
- 3 [適用]をクリックします。

スクリーンセーバーからアプリケーションとプリンタの機能にアクセスする

メモ: アプリケーションアイコンを表示するには、サポートされているアプリケーションを本機にインストールし、有効にする必要があります。サポートされているアプリケーションのリストについては、Readme ファイルを参照してください。

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページに移動します。
[アプリ] > [ディスプレイのカスタマイズ] > [設定]
- 2 [スクリーンセーバーの設定]セクションで、[クイックアクセス設定を有効にする]を選択します。
- 3 [適用]をクリックします。

ログインプロファイルの設定

ログインプロファイルは、ユーザーがプリンタにログインした後に、指定したアプリケーションに自動的にアクセスできるようにするための機能です。

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページに移動します。
[アプリ] > [ディスプレイのカスタマイズ] > [設定]
- 2 [スクリーンセーバーの設定]セクションの[ログインプロファイルの設定]フィールドにアプリケーション名を入力します。
メモ: アプリケーション名では大文字と小文字が区別されます。
- 3 [適用]をクリックします。

スクリーンセーバーの開始時刻を設定する

- 1 内蔵 Web サーバーで、[設定] > [デバイス] > [基本設定]の順にクリックします。
- 2 [画面タイムアウト]フィールドで、画面がアイドルになるまでの時間の長さを指定します。
- 3 [保存]をクリックします。

メモ: 音声ガイダンスを有効にすると、画面タイムアウトとスクリーンセーバーの開始時間は設定した秒数の 10 倍に自動的に延長されます。

スクリーンセーバーのテキストのカスタマイズ

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページに移動します。
[アプリ] > [ディスプレイのカスタマイズ] > [設定]
- 2 [スクリーンセーバーの設定]セクションで、次のいずれかを実行します。
 - スクリーンセーバーのテキストをカスタマイズするには、[カスタムテキスト]フィールドにメッセージを入力します。
 - スクリーンセーバーのテキストの色と位置を変更するには、そのための適切な設定を行います。
- 3 [適用]をクリックします。

スクリーンセーバーの設定を非表示にする

メモ: スクリーンセーバーの設定は、ホーム画面の設定には影響を与えません。

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページに移動します。
[アプリ] > [ディスプレイのカスタマイズ] > [設定]
- 2 [スクリーンセーバーの設定]セクションで、次のいずれか 1 つまたは複数の設定をクリアします。
 - 表示時間
 - IP を表示
 - 日付を表示:
- 3 [適用]をクリックします。

アプリケーションのアクセス権を有効にする

- 1 内蔵 Web サーバーで、[設定] > [セキュリティ] > [ログイン方式]をクリックします。
- 2 [パブリック]セクションで、[権限を管理]をクリックします。
- 3 [アプリケーション]を展開し、希望のアプリケーションを有効にします。
- 4 [保存]をクリックします。

設定ファイルをインポートまたはエクスポートする

メモ: 設定ファイルをインポートすると、既存のアプリケーション設定が上書きされます。

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページに移動します。
[アプリ] > [ディスプレイのカスタマイズ] > [設定]
- 2 [インポート]または[エクスポート]をクリックします。

アプリケーションを使用する

作業を開始する前に、アプリケーションのアクセス権が有効になっていることを確認します。(⇒ [「アプリケーションのアクセス権を有効にする」](#)、8 ページ)

壁紙のイメージを変更する

- 1 ホーム画面で、**[壁紙を変更]**をタッチします。
- 2 使用する壁紙を選択します。

メモ: 内蔵 Web サーバーからカスタム画像を追加することもできます。詳細については、[「壁紙を選択する」](#)、6 ページを参照してください。

- 3 **[適用]**をクリックします。

スライドショーを実行する

メモ:

- このアプリケーションを使用する前に、スライドショーの設定を行ってあることを確認します。詳細については、[「アプリケーションの設定」](#)、5 ページを参照してください。
- このアプリケーションは、フラッシュドライブから取得したイメージ、または内蔵 Web サーバーにアップロードされたイメージを使用できます。両方を使用するようにアプリケーションを設定した場合は、フラッシュドライブから取得したイメージが使用されます。

フラッシュドライブからスライドショーを実行する

- 1 プリンタの USB ポートにフラッシュドライブを挿入します。

メモ: 詳細はプリンタの『ユーザズガイド』を参照してください。

- 2 ホーム画面から**[スライドショー]**をタッチします。イメージがアルファベット順で表示されます。

メモ:

- スライドショーが開始された後はフラッシュドライブを取り外すことができますが、イメージはプリンタ内に保存されていません。スライドショーが停止した場合は、フラッシュドライブを再度挿入するとイメージが表示されます。
- イメージをプリンタに保存するには、内蔵 Web サーバーを使用します。詳細については、[「スクリーンセーバーとスライドショーの画像を管理する」](#)、5 ページを参照してください。

内蔵 Web サーバーからスライドショーを実行する

ホーム画面から**[スライドショー]**をタッチします。アプリケーションの設定ページに表示されるのと同じ順序で、イメージが表示されます。

メモ: イメージがないエントリを、スライドショーで使用することはできません。

トラブルシューティング

アプリケーションエラー

次の手順を 1 つ以上実行します。

診断ログを確認する

- 1 Web ブラウザを開き、「IP/se」と入力します(ここで、「IP」は、プリンタの IP アドレスです)。
- 2 [組み込みソリューション]をクリックしてから、次の操作を実行します。
 - a ログファイルをクリアします。
 - b ログレベルを[はい]に設定します。
 - c ログファイルを生成します。
- 3 ログを分析し、問題を解決します。
メモ: 問題が解決した後、ログレベルを[いいえ]に設定します。

プリンタがファームウェアレベル 4 で実行されている場合は、アプリケーションバージョンをダウングレードします。

メモ: プリンタ機種によりこの機能が無いものもあります。

内蔵 Web サーバーで、以下のいずれかを実行します。

プリンタのファームウェアレベルを確認する

- 1 [状況]をクリックします。
- 2 [プリンタ]セクションでファームウェアレベルを確認します。
ファームウェアレベルは、最低でも `yyyyy.04y.yyyy` になっている必要があります。ここで、`y` はプリンタの詳細です。

アプリケーションバージョンをダウングレードする

メモ: アプリケーションバージョンをダウングレードすると、既存のアプリケーション設定が削除されます。

- 1 [アプリ]をクリックします。
- 2 リストからアプリケーションを選択し、[ダウングレード]をクリックします。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

イメージをアップロードできない

ファイルタイプがサポートされていること、およびイメージが最大ファイルサイズを超過していないことを確認します。

1MB 以内の GIF、JPEG、または PNG イメージを使用します。

- 壁紙として使用するイメージの場合は、サイズを 800 x 405 ピクセルにする必要があります。
- スクリーンセーバーとして使用するイメージの場合は、サイズを 800 x 480 ピクセルにする必要があります。

ホーム画面から[壁紙を変更]と[スライドショー]の各アイコンにアクセスできない

アプリケーションのアクセス許可が有効になっていることを確認する

詳細については、「[アプリケーションのアクセス権を有効にする](#)」、8 ページ を参照してください。

イメージが表示されない

次の手順を 1 つ以上実行します。

ファイルタイプがサポートされていること、およびイメージが最大ファイルサイズを超過していないことを確認します。

1MB 以内の GIF、JPEG、または PNG イメージを使用します。

- 壁紙として使用するイメージの場合は、サイズを 800 x 405 ピクセルにする必要があります。
- スクリーンセーバーとして使用するイメージの場合は、サイズを 800 x 480 ピクセルにする必要があります。

フラッシュメモリ内にあるイメージのディレクトリパスが正しいことを確認します。

(⇒ [「フラッシュドライブを使用するアプリケーションを設定する」](#)、5 ページ)

スクリーンセーバーとスライドショーが有効になっていることを確認します。

(⇒ [「ディスプレイのカスタマイズを有効にする」](#)、5 ページ)

メモ: プリンタの利用可能なメモリが 2308KB 未満の場合、初期設定のイメージが表示されます。カスタムイメージは十分なメモリが利用可能になると表示されます。

フラッシュドライブ読み取りエラー

フラッシュドライブとプリンタの互換性があることを確認する

最小必要条件は、以下のとおりです。

- USB 2.0
- フルスピード規格
- Type A コネクタ
- FAT ファイルシステムを使用してフォーマット済み

サポートされているフラッシュデバイスの詳細については、プリンタの『ユーザズガイド』を参照してください。

フラッシュドライブを挿入しても何も動作しない

フラッシュドライブが正面の USB ポートに挿入されていることを確認する

フラッシュドライブが動作するのは、フラッシュドライブを正面の USB ポートに挿入した場合のみです。

プリンタが現在他の印刷、コピー、スキャン、FAX ジョブを処理中でないか確認する

フラッシュドライブがサポートされていることを確認する

サポートされているフラッシュデバイスの詳細については、プリンタの『ユーザズガイド』を参照してください。

プリンタの USB ポートが有効になっていることを確認する

(⇒ 本機の『ユーザズガイド』)。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

付録

免責

2019年3月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があり、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

本製品の使用に関する Lexmark のプライバシーポリシーの詳細については、www.lexmark.com/privacy にアクセスしてください。

消耗品およびダウンロードについては、www.lexmark.com にアクセスしてください。

© 2016 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

商標

Lexmark および Lexmark ロゴは、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の商標または登録商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

Additional copyrights

This product includes software developed by:

Copyright (c) 2002 Juha Yrjola. All rights reserved.

Copyright (c) 2001 Markus Friedl

Copyright (c) 2002 Olaf Kirch

Copyright (c) 2003 Kevin Stefanik

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer.
2. Redistribution in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

アルファベット

EWS

- アクセス 5
- EWS にアクセスする 5

あ行

アクセス許可

- 有効化 8
- アプリケーション
 - スクリーンセーバーで表示する 6
- アプリケーションエラー 10
- アプリケーションのアクセス権
 - 有効化 8
- アプリケーションのアクセス権を有効にする 8
- イメージ
 - 削除する 5
 - 追加する 5
 - 編集する 5
- イメージが表示されない 11
- イメージをアップロードできない 11

か行

- 概要 4
- カスタムイメージ
 - 追加する 6
- 壁紙
 - 選択する 6
 - 有効化 5
- 壁紙のイメージ
 - 変更する 9
- 壁紙のイメージを変更する 9

さ行

- 削除する
 - イメージ 5
- スクリーンセーバー
 - アプリケーションを表示する 6
 - ステータスポタンを表示する 6
 - 設定を非表示にする 7
 - 設定を表示する 7
 - フラッシュメモリを使用するアプリケーションを設定する 5
 - 有効化 5
 - スクリーンセーバーにアプリケーションを表示する 6

- スクリーンセーバーにステータスポタンを表示する 6
- スクリーンセーバーの開始時刻設定 7
- スクリーンセーバーの開始時刻を設定する 7
- スクリーンセーバーの設定を非表示にする 7
 - IP アドレス 7
 - 時刻 7
 - 日付 7
- スクリーンセーバーの設定を表示する 7
- スクリーンセーバーのテキスト
 - カスタマイズ 7
- スクリーンセーバーのテキストのカスタマイズ 7
- ステータスポタン
 - スクリーンセーバーで表示する 6
- スライドショー
 - 実行する 9
 - フラッシュメモリを使用するアプリケーションを設定する 5
 - 有効化 5
- スライドショーを実行する
 - EWS 9
 - フラッシュメモリ 9
- 設定
 - スクリーンセーバー 7
- 設定ファイル
 - インポートまたはエクスポート 8
 - 設定ファイルをインポートする 8
 - 設定ファイルをエクスポートする 8
- 選択する
 - 壁紙 6

た行

- 追加する
 - イメージ 5
 - カスタムイメージ 6
- トラブルシューティング
 - アプリケーションエラー 10
 - イメージが表示されない 11
 - イメージをアップロードできない 11
 - フラッシュメモリが検出されない 12

フラッシュメモリ読み取りエラー

- 12
- フラッシュメモリを挿入しても何も動作しない 12
- ホーム画面から[壁紙を変更]と[スライドショー]の各アイコンにアクセスできない 11

は行

フラッシュメモリ

- 使用するアプリケーションを設定する 5
- フラッシュメモリが検出されない 12
- フラッシュメモリ読み取りエラー 12
- フラッシュメモリを挿入しても何も動作しない 12
- 変更履歴 3
- 編集する
 - イメージ 5
- ホーム画面から[壁紙を変更]と[スライドショー]の各アイコンにアクセスできない 11

や行

- 有効化
 - スクリーンセーバー 5
 - スライドショー 5
- 壁紙 5

ら行

- ログインプロファイル
 - 設定 7
- ログインプロファイルの設定 7